



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 三共興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎 賢 祥

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 長澤 和 之

(役職名) 執行役員

(氏名) 下川 浩 一

(TEL) (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,746	△4.9	82	93.8	306	43.7	235	183.0
29年3月期第1四半期	6,043	△14.9	42	△56.3	212	△30.6	83	△43.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,121百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △2,241百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.20	—
29年3月期第1四半期	1.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	52,765	36,046	67.6
29年3月期	52,723	35,607	66.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 35,687百万円 29年3月期 35,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	15.00	15.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,900	△7.7	190	△70.9	350	△57.1	150	△74.4	3.31
通期	28,000	△3.3	1,300	△32.4	1,600	△35.4	1,100	△40.1	24.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	60,000,000株	29年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	14,737,397株	29年3月期	14,737,396株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	45,262,603株	29年3月期1Q	45,262,604株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など、穏やかな回復基調にあるものの、不安定な世界情勢の中で消費の盛り上がりにも欠け、景気の先行きに不透明感は拭えず、大幅な金融緩和が続く中で依然として景況感の乏しい状況で推移致しました。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、長引く消費低迷の状況は変わらず、多くの企業で事業構造、収益構造の見直しを迫られており、当面厳しい状況が続くものと思われまます。

このような状況の下、当社グループは、国内外とも販売が伸びず減収とはなりましたが、売上よりも利益重視の意識を徹底し、将来へ向けての事業基盤の整備、強化を迅速に進め、企業体質の強化に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比4.9%減の5,746百万円、営業利益は前年同期比93.8%増の82百万円、経常利益は前年同期比43.7%増の306百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比183.0%増の235百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の販売につきましては、国内市場では主要百貨店での売上も低迷、依然として厳しい状況が続き減収となりました。かかる状況の中で、国内販売子会社の徹底した効率化、収益強化への取り組みを急いでおり、在庫の管理と併せ、不採算店舗からの撤退、固定費を含めた一層の経費抑制など、収益基盤の強化へ向けた体制作りを努めております。

また、海外市場におきましては、主力のアジア市場で前期に中国の販売ルートを整備出来ましたので、今期から拡販に注力してまいります。一方、欧州子会社につきましては税金費用の増加もありましたので減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比5.8%減の3,113百万円、セグメント損失(営業損失)は9百万円(前期は60百万円のセグメント損失)となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けOEM事業につきましては、厳しい市況の中で取引先各社の事業内容の見直しが進んでおり、ブランドの絞込み、生産縮小など、受注競争も厳しく減収となりました。

一方で、新規取引先の開拓を進めるなど対応も進めており、今後とも拡大に向けて注力してまいります。また、経費についても引き続き削減に努めております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.0%減の2,138百万円、セグメント損失(営業損失)は17百万円(前期は0百万円のセグメント損失)となりました。

③ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業につきましては、一部テナントの退去もあり減収減益となりました。以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比3.8%減の435百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比11.6%減の141百万円となりました。

④ その他

ビルメンテナンス事業、内装工事業等につきましては、売上高は前年同期比69.5%増の303百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比628.3%増の21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて986百万円(5.3%)減少し、17,748百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が857百万円減少、現金及び預金が398百万円減少した一方で、商品及び製品が147百万円増加したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,028百万円(3.0%)増加し、35,017百万円となりました。これは投資有価証券が915百万円増加したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて607百万円(5.7%)減少し、10,099百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が621百万円減少、未払費用が135百万円減少した一方で、短期借入金が165百万円増加したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて210百万円(3.3%)増加し、6,619百万円となりました。これは繰延税金負債が288百万円増加した一方で、長期借入金が80百万円減少したことなどによるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて438百万円(1.2%)増加し、36,046百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が659百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が212百万円減少した一方で、利益剰余金が443百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績につきましては、平成29年5月15日の決算発表時に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,069	8,670
受取手形及び売掛金	4,779	3,921
商品及び製品	4,008	4,155
仕掛品	7	7
原材料及び貯蔵品	10	11
未収還付法人税等	263	255
その他	778	901
貸倒引当金	△180	△176
流動資産合計	18,734	17,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,032	7,983
土地	3,166	3,166
その他(純額)	272	280
有形固定資産合計	11,471	11,430
無形固定資産		
商標権	4,062	4,227
その他	232	218
無形固定資産合計	4,294	4,446
投資その他の資産		
投資有価証券	17,635	18,550
退職給付に係る資産	7	7
その他	590	596
貸倒引当金	△10	△14
投資その他の資産合計	18,223	19,139
固定資産合計	33,989	35,017
資産合計	52,723	52,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,335	2,714
短期借入金	5,304	5,470
1年内返済予定の長期借入金	320	320
未払費用	799	664
未払法人税等	116	16
返品調整引当金	35	—
その他	795	914
流動負債合計	10,706	10,099
固定負債		
長期借入金	320	240
繰延税金負債	4,714	5,002
退職給付に係る負債	553	549
その他	821	827
固定負債合計	6,409	6,619
負債合計	17,115	16,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	25,085	24,641
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	29,018	28,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,672	9,331
繰延ヘッジ損益	10	20
為替換算調整勘定	△2,431	△2,218
退職給付に係る調整累計額	△21	△19
その他の包括利益累計額合計	6,230	7,113
非支配株主持分	358	358
純資産合計	35,607	36,046
負債純資産合計	52,723	52,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,043	5,746
売上原価	3,381	3,248
売上総利益	2,662	2,497
販売費及び一般管理費	2,619	2,415
営業利益	42	82
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	207	237
その他	14	14
営業外収益合計	222	252
営業外費用		
支払利息	12	8
店舗等除却損	2	0
為替差損	34	7
その他	2	11
営業外費用合計	51	28
経常利益	212	306
特別利益		
投資有価証券売却益	—	32
特別利益合計	—	32
特別損失		
特別退職金	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	210	338
法人税、住民税及び事業税	67	94
法人税等調整額	56	5
法人税等合計	123	99
四半期純利益	86	238
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	83	235

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	86	238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,284	659
繰延ヘッジ損益	△70	9
為替換算調整勘定	△974	212
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△2,327	882
四半期包括利益	△2,241	1,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,244	1,117
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,301	2,266	374	5,942	101	6,043	—	6,043
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	109	77	190	77	268	△268	—
計	3,305	2,375	452	6,133	178	6,312	△268	6,043
セグメント利益又は損失 (△)	△60	△0	159	99	2	101	△59	42

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△116百万円及びセグメント間取引消去等56百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,109	2,050	357	5,517	228	5,746	—	5,746
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	87	77	169	74	244	△244	—
計	3,113	2,138	435	5,687	303	5,990	△244	5,746
セグメント利益又は損失 (△)	△9	△17	141	115	21	136	△54	82

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△54百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△112百万円及びセグメント間取引消去等58百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。